



2024（令和6）年度

二中だより



第13号 2024（令和6）年7月4日 発行責任者 加賀谷 登

「晴耕雨読」と「自ら学ぶ」

7月1日（月）全校集会の校長講話より

雨の日が続いていますが、今日は「晴耕雨読」と「自ら学ぶ」ことについて話をします。

「晴耕雨読」という言葉があります。晴れた日には畑を耕し、雨の日には家で本を読むという生活を表した言葉です。現代社会は、晴れの日も雨の日も仕事はあるので、当てはまらないかもしれません。が、あえて言ってみれば、晴れの日には出かけて趣味や好きなことをして、雨の日には静かに本を読むということでしょうか。あるいは、田舎で自然に囲まれてゆったり生活することや、何ものにもとらわれずに自由気ままな生活をするということにもなるかもしれません。そう考えると「晴耕雨読の生活」は、自然とのふれあいが少ない現代人にとっては、理想的な暮らしかもしれません。

何歳になっても本に親しみ、自分で新しいことを学ぶことのできる力を身に付けてほしいと思います。一般に「学力」というと学校で学んだ身に付けた知識やそれを活用する力をさしますが、本当の学力とは自分で学ぶ力だと思います。

しかし、自ら進んで学ぶことは難しいです。

新しい製品などを手に入れ、使い方が分からない時は必死で説明書を読んだり、友達に聞いたりして学ぼうとします。せっかく買った物を使うためには、学ぶ必要があるからです。スマートフォンを買ってもらった時も同じでしょう。その機能を使えるようにするために、いろいろと試したり、友達に聞いたりして使い方を学びます。しかし、教科などの勉強はどうでしょうか。必ずしも必要性を感じられない時もあるでしょう。「テスト」があるから仕方なくという人もいるでしょう。現実に高校に入るには入試があります。大学や就職も同じです。一つ一つの教科に興味をもてなくても、自分の将来のために必要だから学ぶことがあっても良いのかもしれません。

けれども本当の学びとは、自分の「知りたい」という気持ちからわき起こる学びだと思います。自分が「知りたい」とか「こうなりたい」と心から願う世界や目標を見つけることができれば、自ら学びたいと強く思えるでしょう。そんな自分の求める世界や夢を読書を通して見つけてみてください。「晴耕雨読」の気持ちで図書室や図書館を利用してみてください。本には未来への夢がたくさん詰まっています。自分が求めている本を探してみてください。

「自ら学ぶ」は阿南第二中学校の校訓でもあります。校訓を実践するためにも、ぜひ「晴耕雨読」をしてみましょう。

県総体及び各種県大会・コンクール出場壮行会

7月1日（月）全校集会の後、県総体や各種県大会・コンクールに出場する部活動の壮行会が行われました。



卓球部



女子ソフトテニス部



男子ソフトテニス部



陸上部（通信陸上）



陸上部（市陸）



水泳部



ジャズバンド部

南部Bブロック大会を勝ち抜き県総体に出場する部活動のみなさんからは、支えてくれた人たちへの感謝や他校の人たちも含め県総体に出場できなかった人たちの分まで頑張りたいという思いが語られました。陸上部や水泳部のみなさんからは、個人記録の更新や日頃の練習の成果をしっかりと発揮したいと決意を語りました。ジャズバンド部からは、日頃の練習の成果を発揮して、コンクール金賞を目指しますと決意表明がありました。

悔いを残すことなく最後まで全力を発揮して、楽しんできてほしいと思います。

県総体及び各種県大会・コンクール出場に向けて

卓球部：湯浅 亮太

僕たち卓球部は、日々練習を頑張ってきました。団体戦では、ブロック総体で負けてしまい県総体へ出場することができませんでした。団体戦では負けてしまいましたが、個人戦で全力で頑張りたいと思います。去年は二回戦で負けてしまったので、今年は一球一球を大切に、悔いが残らないように全力でプレーしたいと思います。応援よろしくお願いします。

卓球部：美喜 敦史

僕は卓球の個人で県総体に出場します。県総体なので自分よりも強い人がたくさんいると思いますが、まずは、一回戦突破めざしてがんばりたいです。去年あと一歩のところまで負けて悔しい思いをしました。そこからドライブやスマッシュを練習して自分から攻めるプレーを挑戦してみると、試合で自分から点を取り勝てるようになりました。このプレーを県総体でも崩さず自分の卓球をしたいです。応援よろしくお願いします。

女子ソフトテニス部：団体

私たち女子ソフトテニス部は、南部Bブロック大会で準優勝し県総体出場することができました。優勝することはできませんでしたが、チームみんなで一つの目標を達成できたのはとても良かったです。県総体まで残り少ないですが、またみんなで目標に向かって足りなかった部分を反省し練習に取り組みます。そして、四国総体を目指し一人一人が最後の一球まであきらめずがんばります。応援よろしくお願いします。

女子ソフトテニス部：工藤 心結

私たちペアは、最後の南部Bブロック個人戦「優勝」を目標に頑張ってきました。決勝戦では、点を取ったり取られたり苦しい場面がたくさんありました。それでも今まで練習してきたことを思い出し、二人で声を掛け合い最後まであきらめずできました。そして、一番大きかったのは、たくさんの方が拍手で応援してくれたから優勝することができたと思います。県総体では、今まで以上の緊張感がありますが、入賞を目標に笑顔で終われるようがんばります。応援よろしくお願いします。

女子ソフトテニス部：是松 絢音

私の県大会での目標は、優勝することです。理由は県大会一位のペアに勝ったことがないからです。私は去年から「そのペアに勝って優勝したい。」という思いが強く、日々練習を頑張ってきました。だから、この最後の総体で倒せるように残り少ない時間練習を頑張ります。県大会を通過点として四国・全国にも行けるよう頑張りたいです。これまで支えてくれた人たちに恩返しできるようなプレーや結果を残したいです。

女子ソフトテニス部：武田 麻凜

私の県大会での目標は、いつも敗れているベスト16がけで勝つことです。そのために、今まで練習してきたことをしっかりと試合に生かしていきたいです。そして、もし負けそうになってしまっても、笑顔を忘れず全力でプレーします。最後に、今まで支えてくれた人たちのためにもがんばります。

女子ソフトテニス部：西内 未空

私はベスト8に入って、四国大会に行きたいです。簡単には入れないのはわかっていますが、ペアの子は今年でもう終わりです。だから、最後は悔いのない結果で終わらせてあげたいです。この子と組んで良かったと思って欲しいです。個人でペアの足を引っ張らないようにしたいです。個人ベスト8をめざして、ペアの子と一つになってがんばります。

女子ソフトテニス部：是松 琴音

私は、個人はベスト4までに入り、賞状を取りたいです。前回の県大会で賞状が取れなかったのが、この県総体で賞状を取りたいです。ペアと話し合い、声を出して点を取られても、しっかり二人で声を掛け合いたいです。県大会までの練習では、集中して練習に取り組みたいです。最後まで諦めず、悔いのないように、笑顔で終わりたいです。一生懸命、全力でがんばります。

女子ソフトテニス部：勇 桜花

私は、県大会でベスト4に入ります。そのために、ペアの子と声を掛け合いながら、話し合い、二人で一つの点を取れるようがんばります。点を取られていても、取っていても、二人で声を出して、最後まであきらめず、今までしてきた練習の成果を、全部出せるように、精一杯がんばりたいです。

男子ソフトテニス部：吉岡 弘登

僕は県総体には初めて出ます。去年も、その前も、まず出られてすらなかったので、僕が今年県総体に出られたことは成長したということだと思います。僕は高校でソフトテニスを続けるつもりなので、この経験をいかせるようにしたいです。

男子ソフトテニス部：武田 海翔

僕は県の総体で、1勝でも多く勝つために一球一球を大切にプレーしたいと思います。僕は1年生・2年生と両方とも県の大会に出られずに負けました。普段はすごく勝ちにこだわった試合をするのですが、最後、今までソフトテニスをしてきて良かった、楽しかったという思いで終われるようなプレーを心がけたいです。

県総体に出場する卓球部、女子ソフトテニス部、男子ソフトテニス部の決意表明を紹介しました。県総体での目標やこれまでの試合で悔しかった思いなどを書いてくれました。お世話になった人たちへの感謝の気持ちを忘れずに、最後の最後まで諦めずに頑張ってください。応援しています。

水泳部、陸上部（通信陸上）、ジャズバンド部の決意表明は、次号で紹介します。